AKKODiSの社員が、岡山県玉野市初となる「地域活性化起業人」に就任

- 玉野市のフロントヤード改革で窓口DX推進を支援 -

世界30ヵ国でデジタルエンジニアリングを核としてスマートインダストリー領域をリードするAKKODiSの日本法人で、現場変革の力とデジタル技術により企業の生産性向上とAIトランスフォーメーションの実現を支援するAKKODiSコンサルティング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：川崎 健一郎、「以下、AKKODiS」）は、総務省が推進する「地域活性化起業人」制度を活用し、岡山県玉野市（市長：柴田　義朗、「以下、玉野市」）に社員を派遣する協定を締結いたしました。本協定により、AKKODiSの社員である河口 真紀が「地域活性化起業人」として玉野市の窓口DXの推進によりフロントヤード（住民と行政の接点）改革を支援します。

今回、地域活性化起業人に着任する河口 真紀は、以下のようにコメントしています。
「岡山県出身で25年を過ごした後、東京で24年間、多様な価値観の人々をつなぎ、モノづくりと事業を通じて地域創生に取り組んできました。故郷である岡山県での活動機会を模索していた時に玉野市とのご縁をいただきました。瀬戸内海に面した玉野市は、海と山の美しいコントラストが魅力で、四国の玄関口としての機能も持ち、四国との連携による発展が期待できます。
着任後は瀬戸内海の景観や四季の美しさを楽しみながら、玉野市の魅力を再発見したいと思います。地域活性化起業人として、新庁舎移転に向けた窓口DX推進基本方針の策定や運用フロー設計を通じて行政サービスを効率化し、住民の皆さまに使いやすいサービスを提供したいと考えています。市民の声に耳を傾け、市役所の皆さまと共に玉野市の魅力を最大限に活かしたまちづくりに貢献していきます。」

AKKODiSは、「日本企業を、世界企業へ、現場変革から。」というビジョンの実現に向け、AKKODiS

のチームと現場との融合＜フュージョン＞による独自のアプローチで、企業や地域社会の組織内部からの変革を促進し、デジタル技術を駆使した生産性向上とAIトランスフォーメーションの実現を支援しています。

写真左から、地域活性化起業人に就任したAKKODiSの河口と玉野市の柴田市長

AKKODiSコンサルティング株式会社について

AKKODiSは、デジタルとエンジニアリングを融合させたソリューションを世界30ヵ国で提供するスマートインダストリー領域におけるグローバルリーダーです。日本法人のAKKODiSコンサルティング株式会社は、「日本企業を、世界企業へ、現場変革から。」をビジョンに掲げ、7,000名を超える現場を熟知したスペシャリストが、現場変革の力とデジタル技術を駆使し、企業の生産性向上とAIトランスフォーメーションの実現を支援しています。AKKODiSのチームが企業および組織の現場との融合＜フュージョン＞による独自のアプローチにより、組織内部から変革を促進し、世界スケールの事業をお客様と共に創出します。

【AKKODiSウェブサイト】　https://www.akkodis.co.jp/

AKKODiSコンサルティングのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/10295